

小中学校の連携を深めるとともに、地域の様子や子どもたちの実態を知り、
指導に生かしていこう

I. 主題設定の理由

地域の教育課題解決のためには、小中が連携を深めることが必要である。本ブロックでは、同じ笛川中学区で学ぶ児童・生徒たちをともに教育していくという立場から、児童・生徒の生活の基盤である地域について理解を深めようということで、地域の自然、歴史、文化、産業などについて、臨地研修や体験活動を行なってきた。また、今日的な課題にせまる学習会、小中の授業参観を計画、実践している。こうした活動を通し、児童・生徒への理解を深め、教育上の課題を共有し、指導に生かすことができるのではないかと考える。

II. 研究の内容・方法

1. 第1回ブロック交流研究会（臨地研修）

(1) 日時 8月3日（火）13：30～

(2) 目的 地域の文化を知るとともに、教師間の交流を図る

(3) 内容

【室伏地区の打ちはやしについて】

- ・室伏公民館において打ちはやし保存会会長からの概略や歴史について伺う
- ・ビデオ及び児童による実演を見せてもらう

【陶芸体験】

- ・三富地区の「たかとう陶芸教室」において、陶芸体験学習

2. 第2回ブロック交流会

(1) 日時 11月17日（水）3：30～4：50

(2) 目的 特別支援教育について理解を深め、今後の指導に生かす

(3) 内容 特別支援についての学習会（会場 笛川中学校）

講師 かえで養護学校 伊波 美恵先生

演題 「発達が気になる子の理解と対応」

特殊教育から一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な支援を行なう特別支援教育へ。学習スタイル別指導方法、気をつけたい言葉かけ大切にしたいことばかけ。事例から考える子ども理解や学校でできる支援。巡回相談などの外部支援について

3. 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月12日（水）2：00～

(2) 目的 小学校の公開授業を参観し、授業の様子や児童の様子を知り、
連携して子どもたちを育てていくための意見交換をする。

(3) 内容

牧丘第二小学校

	教科	授業者	単元・題材名
1年	算数	依田 史	しかくいビルをつくろう
2年	国語	小川真知子	本に親しもう
3年	国語	土屋 弘明	言葉っておもしろいな
4年	音楽	山本ふみ子	曲の気分を生かして
5年	社会	阿部伸之介	住みよいくらしと環境
6年	国語	倉田 和美	わたしたちの言葉
こなら	国語	石原喜久夫	文をつくろう

牧丘第三小学校

	教科	授業者	単元・題材名
1年	生活科	沼田豊子	とびだせあそびたい（冬） お正月の遊び
2年	国語	津野千尋	すすんではなしたり聞いたりしよう「何に見えるかな」
3年	国語	関口若子	世界の「こんにちは」と文字（ローマ字）
4年	算数	竹川俊之	広さを調べよう
5年	算数	藤原小百合	比べ方を考えよう
6年	算数	清水芳彦	変わり方を調べよう

Ⅲ 成果と課題

1. 成果

- ・ 教職員の人的交流、教育的な交流など、いろいろなスタイルの交流方法があり、学ぶ点は多かった。
- ・ 夏休みの研修会で地域の産業や伝統行事、体験活動について学ぶことができ、地元の伝統芸能（うちはやし）を知るきっかけになった。地域の方たちの協力で陶芸体験も楽しく地域の連携にもつながった。
- ・ 特別支援の学習会について、新鮮に受け止めることができた。講師の解説もわかりやすく参考になるものだった。
- ・ 授業参観では明るく生き生きと学習している子どもたちの様子を、じっくりと見ることができた。授業後の話し合いで、子どもたちの現状を率直に聞くことができ、今後の指導の参考になった。日常的な生徒指導や生活指導など、笛川中と小学校が連携できると、中1ギャップのハードルが低くなる。

2. 課題

- ・ 年3回の研究内容をどのように設定するか、8年目を終わり定着化する一方で、さらなる工夫が必要となる。授業公開2回・臨地研修とか中学校の先生による小学校での授業、ワークショップ、などはどうか。
- ・ 授業参観の実施時期、授業公開する学校数、交流会で話し合いのテーマの提示、名札の着用などについて検討したらどうか。

（ブロック長 沼田 豊子）